

# 三春ダム リフレッシュ放流の実施状況

R6.9.20現在の実施状況をお知らせします。

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- リフレッシュ放流の予定日
- // 放流の実施日
- 水位維持・洪水調節による放流

## 【参考情報】

# リフレッシュ放流でダム下流河川の環境改善 ～一時的に放流量を増やして川をきれいに～



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Bureau  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

令和 6年 6月20日

三春ダム管理所

## リフレッシュ放流<sup>※1</sup>でダム下流河川の環境改善 ～一時的に放流量を増やして川をきれいに～

○三春ダムでは、6月21日から10月4日までの隔週でリフレッシュ放流を実施し、下流河川のよどみの解消・付着藻類の更新等を促し、河川環境の改善を図ります。

○さくら湖の外来魚（ブルーギル）の産卵時期に貯水位を下げることで、産卵した卵を干し上げ<sup>※2</sup>、数を減らす取り組みも実施します。

◎リフレッシュ放流により、赤沼地点<sup>※3</sup>において大滝根川の水位が一時的に**最大70cm程度上昇する見込み**ですので、河川を利用される方は十分に注意してください。

### ※1：リフレッシュ放流

夏場にダム下流の大滝根川の流量が減少して発生する「よどみ」等の河川環境の劣化に対し、ダムからの放流量を一時的に最大毎秒20m<sup>3</sup>（通常は毎秒2～3m<sup>3</sup>）に増加させ、

- ①川の石に付着した古い付着藻類を洗い流す
- ②川のよどみ（臭気等）の解消する

ことで底生動物・魚類の良好な生育環境の保全と河川環境の改善を図ります。

### ※2：ブルーギル産卵床の干し上げ

リフレッシュ放流の際、一定期間貯水位を保って外来魚（ブルーギル）の産卵を促し、産卵後に貯水位を下げることで、産卵した卵を干し上げて数を減らす取り組み（平成24年度から実施）。

### ※3：赤沼地点：赤沼水位観測所（郡山市中田町大字高倉地内、赤沼橋下流）

### ■リフレッシュ放流状況と効果

別紙－1

### ■リフレッシュ放流を利用したブルーギル産卵床の干し上げ

別紙－2

※降雨や放流量・貯水位の状況により中止または実施日を変更することがあります。

# 【別紙ー1】リフレッシュ放流状況と効果

## 放流の状況

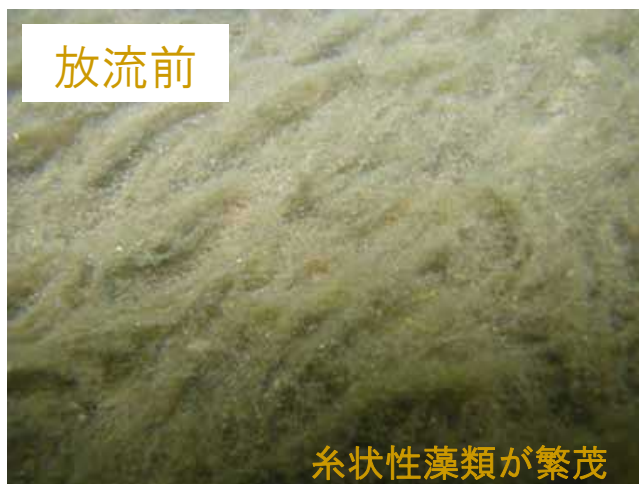


ダム流下量  
約20m<sup>3</sup>/s

## リフレッシュ放流の効果

【付着藻類の洗い流し】

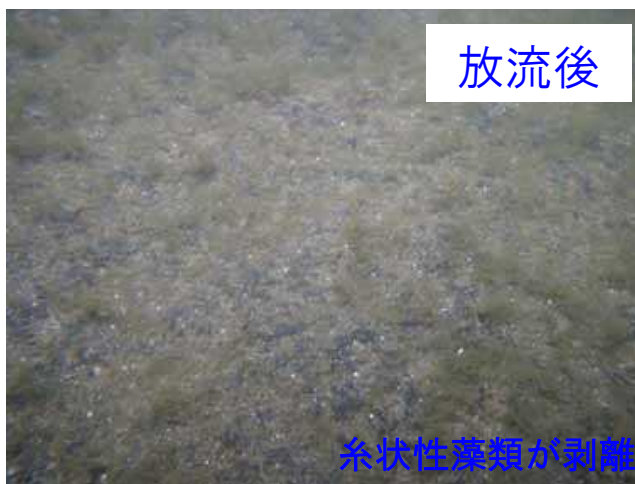
放流前



糸状性藻類が繁茂



放流後



糸状性藻類が剥離

【よどみの解消】

放流前



よどみ発生状況



放流後



よどみ解消状況



# 【別紙ー2】リフレッシュ放流を利用したブルーギル産卵床の干し上げ

<平成23年度まで>

通常のリフレッシュ放流での水位低下幅(約0.3m)のみで実施

<平成24年度～>

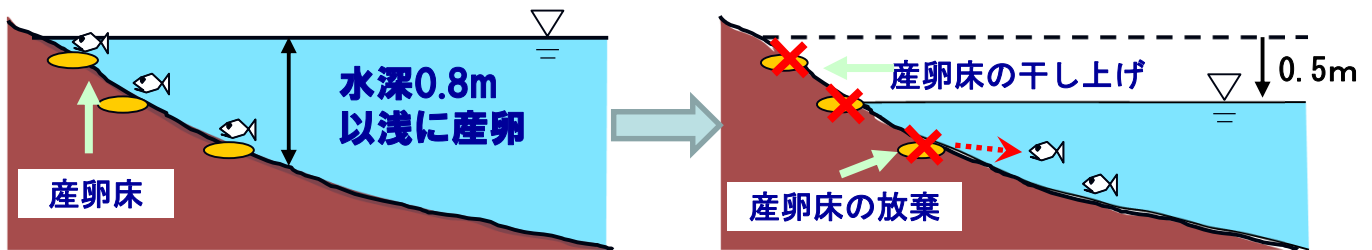
平成23年度調査の結果、

- ・三春ダムのブルーギルの産卵水深は0.8mより浅い箇所
- ・リフレッシュ放流の時期とブルーギルの繁殖期が重複

⇒貯水位を0.5m下げた結果、ブルーギルの産卵床を干し上げ、または放棄させることができた。

※ブルーギルの繁殖開始時期

水温が20℃以上で産卵を開始 (→ 6月中旬～7月下旬頃)



**ダムの水位を下げ、浅瀬に産み落とされた卵を干し上げる**

リフレッシュ放流で「干し上げ」又は「放棄させた」ブルーギル産卵床数 (平成24～令和5年度)

